

# キャンドルのつどい

キャンドルのつどいは、神秘的な雰囲気の中で、灯のもつ明るさとあたたかさを見つめながらおこないます。

自己の過去をかえりみ、現在を知り、未来を考え、これからの人生の活力を生み出す機会にするとともに、参加者の友情を深めます。



## 活動のねらい・期待される効果

静かに自己をみつめ、自らを高めようとする意欲を培います。  
仲間との交歓を通してお互いの友情を深めます。  
キャンドルのつどいのあり方を体験します。

一斉実施可能人数	400人	活動季節・条件	通年
所要時間	1～2時間	実施場所	講堂、体育館、剣道場など
主な対象	幼児～		
指導について	自主活動を原則としますが、依頼があれば交流の家研修指導員が指導します。その場合は、21時までとし、指導時間は1.5時間程度です。 指導料については、ガイドブックをご確認ください。		

## 活動の概略

- ①1部 迎火のつどい(火を迎えるセレモニーとして厳粛に実施する。)
  - ②2部 交歓のつどい(友情と親睦を深めるよう全員協力して楽しく実施する。)
  - ③3部 送火のつどい(火を送るセレモニーとして厳粛に実施する。)
- ※団体自主活動の場合は、オリジナリティあふれる活動をどうぞ！

## 準備物

### 交流の家が貸し出しできる用具・材料

- ・中央燭台と大ローソク
- ・スタッフ用大ローソクと燭台(必要人数分)
- ・参加者の小燭台(人数分)
- ・まことの火のランプ
- ・竹べら(ロウ落とし用)
- ・中央燭台用シート(剣道場等)
- ・ワイヤレスマイク、マイクスタンド、フレキシブルペンライト、CD/MD/SD/USB/カセットデッキ

### 利用者または団体に準備する用具・材料

- ・小ローソク
- ・スタンプ小道具

### 事務室で購入できる物

- ・小ローソク10本セット
- ・大ローソク1回分使用料

※購入物品の金額については、利用申込書一式(プログラム教材・指導員申込書)をご確認ください。

## 当日の動き

- ①打合せ 実施場所、事前指導(会場準備)の開始時間や実施に必要な物品の確認をします。研修指導員指導を依頼した場合は、実施前に指導員との打ち合わせも必要です。
- ②事前指導 交流の家職員が指導をします。  
用具の受け取り 中央燭台や必要に応じてシートの準備や大ローソクの芯の周囲のロウを削ったり、小ローソクの準備などをします。(16:30までお願いします)
- ③活動(展開) 自主活動が基本ですが、研修指導員に指導を依頼することもできます。
- ④用具の片づけ 終了後は、担当者が指示して用具を元の場所へ戻しておいてください。床に落ちたロウは、竹べらで落とし、掃除をしておいてください。放送設備や電気等の電源をOFFにしておいてください。

## 安全対策・環境への留意点

- ・ロウが垂れて付くと熱いので、火のついたローソクは傾けないよう指導してください。

## 備考

- ・研修指導者を交流の家に依頼した場合は、「キャンドルのつどい実施要項」を十分理解しておいてください。(スタッフの氏名とスタンプの内容を決めておくこと)
- ・実施要項等の資料が必要な場合は、直接ご連絡ください。